

別紙様式3

平成29年度 第2回 不破高等学校活性化協議会 議事要旨

日 時	平成30年2月8日(木) 13:30~15:00
場 所	不破高等学校 ガイダンス室
出席者 (敬称略、 50音順)	<p>(委員)</p> <p>神谷 憲一 垂井町立不破中学校長 (代理:小森富雄 教頭)</p> <p>竹内 治彦 岐阜経済大学教授</p> <p>中川 敏之 関ヶ原町教育委員会教育長</p> <p>中川 満也 垂井町長</p> <p>西川 一明 宮代地区まちづくり協議会長</p> <p>西脇 康世 関ヶ原町長</p> <p>丹羽 豊次 不破高等学校同窓会長</p> <p>林田 力 垂井町立北中学校長 (代理:中山英三 教頭)</p> <p>藤壇 守 岐阜県議会議員</p> <p>三浦 高雄 垂井町商工会事務局長</p> <p>南園 美喜雄 不破高等学校PTA代表</p> <p>山田 直人 垂井町立宮代小学校長 (欠席)</p> <p>和田 満 垂井町教育委員会教育長 (代理:木全 豊 学校教育課長)</p> <p>(学校側)</p> <p>岩田 善隆 校長</p> <p>増田 泰志 教頭</p> <p>川瀬 英樹 教務主任</p> <p>臼井 澄人 進路指導部長</p> <p>早矢仕有沙 教務部</p> <p>(県教育委員会)</p> <p>日比 学 教育総務課管理主事</p>
議事概要	<p>○学校の取組報告を受けて</p> <ul style="list-style-type: none"> ・地域に根差した学校づくりを進めるに当たって、地域の小中学校との連携は不可欠である。地域と一体になって、基本的な学習習慣や学び続けられる忍耐力を養うなど、生徒がしっかり学べる環境づくりをする必要がある。 ・我慢してやることができない子どもが増えており、なぜそれをやらなければならないのか、その必要性を実感させながら、丁寧に指導していかなければならない。 ・本校の魅力は少人数授業であり、この認知を高めていけるとよい。 ・中学生に対して、本校の生徒が直接、本校の魅力を語れる場があるとよい。 ・中学生に本校を身近に感じてもらうために、MSリーダーズやボランティア活動などを一緒に行うなど、これまで以上に連携を強化してはどうか。 ・本校の特色の一つであるスポーツチャンバラ部について、中学校の土曜授業等を活用して、積極的に中学生にPRしてはどうか。 ・本校は元気な男子生徒が多いイメージがあるが、新聞記事や部活動の実績などから見ても、女子生徒の活躍が目立つ。女子も多く進学している学校であるということ積極的に外部にアピールし、イメージチェンジを図ってはどうか。 ・県外募集について、県教育委員会が周知の方法を再考すべきではないか。